

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第2回斑鳩町男女共同参画推進委員会
開催日時	令和7年9月18日（木）
	午後1時27分～2時11分
開催場所	斑鳩町役場3階 第1会議室
議長等の氏名	会長 大方 美香
出席者（委員）の氏名	石川 裕之、上田 昌功、大方 美香、宮崎 高尚、 山本 結子
欠席者（委員）の氏名	萩原 有紀
事務局職員職氏名	町長 中西 和夫 総務部長 西巻 昭男 政策財政課長 中尾 歩美 政策財政課課長補佐 岡山 真由美 委託事業者：（株）サーベイリサーチセンター 萬関 明子、眞木 勇斗
議題	（1）第4次斑鳩町男女共同参画推進計画の骨子案について
会議結果	発言内容のとおり
会議経過	1. 開会 会長挨拶 2. 議事 事務局から会議資料確認 会議録の署名委員として、上田委員と宮崎委員を指名 （1）第4次斑鳩町男女共同参画推進計画の骨子案について 事務局から資料に基づき説明 3. その他 事務局から次回委員会の日程について説明 質疑等、発言なし 4. 閉会
会議資料	資料1 第4次斑鳩町男女共同参画推進計画（骨子案） 資料2 各種審議会等における女性委員割合 資料3 男女共同参画に関する世界・国・奈良県の動き 資料4 男女共同参画に関する社会の状況 資料5 計画の体系（案）

発言者	発言
大方会長	(1) 第4次斑鳩町男女共同参画推進計画の骨子案について資料1の2ページの下に【計画名案】と【テーマ案】がある。先にそこのところを確認したい。計画名については、説明にもあったとおり、これまでの計画名「女(ひと)と男(ひと)が輝く未来計画」を踏襲することとして提案されている。一方で、サブタイトル的に【テーマ案】の①～④がある。何かご意見はあるか。
石川委員	【テーマ案】はどれも良いと思うが、【方向性】の中に「誰もが尊重され」という文言が出てくる。あと、①③④はニュアンスが同じだと思うが、②は違う印象を持った。「みんなが」は、一人残らずというニュアンスがどうしても出てくる。個人的な意見としては、①③④のどれかだと思うが、【方向性】と【基本目標】の中にも「誰もが」と出てくるので、整合性の観点から①だと思う。
大方会長	①③④の内、中でも特に①が内容に近いとのご意見だった。山本委員、ご意見はあるか。
山本委員	計画の説明資料全体を見て、「男女」ではなく「切れ目なく」「あらゆる人が」「誰もが」という表現が以前より増えたことが印象的だった。「誰もが」は便利な言葉だが、相手の想像力に任せてしまう、影響を受けてしまうところがある。「誰もが」と思う範囲は、例えば、男女、障害者、高齢者、子ども、DVなど人それぞれ違うのではないか。計画の内容も人権の計画かと思うほど人権と内容が似通ってきている。人権では扱うが、男女共同参画では扱わない分野もある。その中で「誰もが」は、例えばLGBTのことを意識していない人も世の中にはたくさんいるし、子どもがいるから子どものことは頭にあるが、高齢者は近くにいないからあまり意識がない人もいるように、各人に依存してしまう言葉かもしれない。人権の計画と混ざるところもある。説明の中では、「誰もが」の前に枕詞として「性別に関わらず」と必ず入っていると感じた。

	今回は男女共同参画計画の中の話であり、もちろん男女の区切りだけでなくLGBTの方もいて、男女の問題にも様々あるので、口頭だけでなく断り書きが必要ではないか。【テーマ案】としては「誰もが」との整合性は良いとは思うものの、断り書きが気になるところである。①③④は似ているところがあるが、昨今の社会問題は一人ひとり違い、色々な事情を抱えている気がするので、③も良いのではないかと思う。
宮崎委員	今のお話を聞いて、一人ひとりの事情が違い、こういうふうに変えれば良いというところに対して、皆で良い社会を作っていくというニュアンスがあり、③が良いのではないかと思う。
上田委員	基本的なところだが、【方向性】等は漢字の「誰もが」だが、テーマ案は平仮名で「だれもが」となっている。 テーマの「一人ひとり」も大事なことだと思うし、「誰もが」を漢字にするか、平仮名にするかによって、ニュアンスが違う感じがする。 「誰もが」と「だれもが」について、どちらの方が望ましいかという、漢字を読めない方もいるので、平仮名のほうが皆さんにわかっていただけるのではないか。
大方会長	こども家庭庁は平仮名の「こども」、文科省は漢字だし、厚生労働省は「子ども」だし、おっしゃるように意味が違う。事務局は漢字と平仮名を使ったことに意味があるのか。
事務局	ご指摘いただくまで意識していなかった。計画書の中では漢字を今まで使っていたが、テーマとして目に触れるので、平仮名のほうがわかりやすく、硬いイメージにならないということで平仮名にしているとも言えるが、特に意図したものではない。
大方会長	両方平仮名に変えることは可能か。法律的な文言としての整合性はどうか。

事務局	総合計画等、他の計画の表現に合わせる必要がある。漢字を使っている場合が多いと思う。
石川委員	山本委員がおっしゃるとおり、個別の事情に応じて考えることは良いと思うが、「一人ひとり」という言葉は個が分断されているイメージがある。例えば、協働することで輝ける場面もある。より分断されているイメージが少ないのは、「誰もが」と「あらゆる人々」だと思う。逆に、集団として一塊にならないといけないのは②の「みんなが」だと思う。そのあたりは人によって受ける印象が違うので、どう考えるか。また、「誰もが」は受け取る人によって範囲が異なるのはそのとおりで、それがまさにアンコンシャスバイアスだと思う。「誰もが」からLGBTや特定の属性を持つ人が外れている状態や意識を改善していく、できるだけ幅広く包含できるような意識を築いていく為の計画ともいえる。その点からも、「誰もが」に包含される対象をより広くしていくという目標設定をする為のテーマとしても、あり得ると感じた。 漢字と平仮名では私も平仮名のほうが柔らかい印象を受ける。
大方会長	個人的には①③④と思ったが、「一人ひとり」は個別になり過ぎると思った。多様性を考えると、「あらゆる」のほうがいいと思っていた。どうしても今日決まらなければ、事務局にお任せしようと思う。宮崎委員、何かあるか。
宮崎委員	事務局にお任せする。
中西町長	いろいろな会議に出席していると、どのテーマ案も見た感じは普通に見えてくる。ご意見を聞いて、そういう見方もあるのかと感じている。
山本委員	分断されているイメージは、そのとおりだと思う。個別に事情は違うが、皆がという気持ちも大事なので「誰もが」あるいは「あらゆる」が良いと思う。

上田委員	漢字と平仮名は統一したほうが良いと思い、発言した。「誰もが」がベターかと思っていた。皆様のご意見を聞いて、言葉一つが大事だと勉強させていただいた。
石川委員	私の同僚が以前から言っていることで、「輝いて」とあるが、輝くことの強制性を考えたほうが良い。例えば、「すべての女性が輝ける社会」は一般的には肯定的に捉えられているが、その方曰くプレッシャーを感じるとのことである。女性は就職して、出産して育児もすることをずっと押し付けられてきた。それが大きく改善しないままに、今度は輝けというのかと。輝くという言葉にネガティブな印象を受けると聞いて、なるほどと思った。そういうことを考えると「輝いて」の前に「みんなが」「一人ひとり」「あらゆる」とあると、輝くことに対する強制性が若干強くなると感じている。「誰もが」だと、輝くことの強制性が和らぐと思うが、そのあたりはいかがか。
大方会長	テーマの「輝いて暮らせる」は、主語が人ではない。「輝く女性」となるとおっしゃるとおりだと思うが、ここは誰もの暮らしが輝くと捉えていた。
石川委員	「輝く」は便利な言葉だが、人によってはプレッシャーになることもあるようである。ただ、ここでは確かに暮らしにかかっているようである。
大方会長	「元気な子ども」と同じことだと思うが、これは「輝いて暮らせる」なので大丈夫かと思う。 「女（ひと）と男（ひと）が輝く未来計画」はこれまでどおりを踏襲することでご承認いただいても良いか。
委員一同	異議なし
大方会長	サブタイトルについて、①③④の中から事務局に一任しても良いか。

委員一同	異議なし
大方会長	その下の【基本目標案】については、よろしいか。
石川委員	これで良いと思う。第3次と比べてすっきりした。説明いただいたとおり、包括し、それぞれの活動も連携して取り組んでいくことが広がっていく感じがした。
宮崎委員	この3つで良いと思う。
山本委員	私も、すっきりして良いと思う。正しく並べることは大事だが、人間の短期記憶は3つくらいなので、男女共同参画計画が大事だと思った時の印象に残りやすいと思う。第3次計画よりレベル感が揃った感じがする。暴力について大きく出しているのは、それを大事に考えている表れだと思うが、それが安心の中に入ったのは良いと思う。
上田委員	意識づくり、基盤づくり、社会づくりは大事なことだと思う。人々の意識も変わる。目標設定は有難い。
大方会長	それでは、【基本目標案】についてはご賛同いただいたので、事務局原案で進めてもらえたらと思う。 全体として何かあるか。
石川委員	資料1の3ページの基本目標2の1つ目の指標はこれで構わないが、第3次計画の結果を見た時に、平成26年から希望が13ポイント増えているのは意識改革として成功しており、良いことだと思う。現実も3%増えていて確実に良くなっているが、より意識が改善された為にギャップが広がったものだと思う。評価する時にギャップが広がるから希望をあまり上げないようにする必要はない。希望が増えること自体は肯定的に捉えつつ、現実はどうだけ改善されているかを委員会で評価していければと思う。
宮崎委員	改めて、男女共同参画推進という言葉自体が難しいと思う

山本委員	ので、広報紙等に掲載する場合はこの文字を大きく出すよりも、内容や方向性を表に出したほうが良いと思う。 おっしゃったように、広報について方向性にも盛り込まれており、周知・啓発を強化するとのことで、前回委員会でも周知が進んでいないことが話題になった。町民の皆さんが計画を知っているかどうかが大したことではないと思う。それよりも、内容や基本方針にある言葉等が広まれば良いと思う。
大方会長	他にないようですので、本日の審議案件を終了させていただきます。 以上